

1健康づくり

(1)健康づくりの機会・場の充実【重点施策・健康増進事業】

①運動する機会・場の充実

No.	事業名	事業概要	R 6 事業実績				生涯現役の視点からの総合評価		R 8（後期最終年度） 目標値 又は 達成目標	担当課
			指標／目標値 又は 達成目標		実績値 又は 達成状況	内容				
1	高齢者スポーツ大会 の開催	姫路市老人クラブ会員を対象に、 スポーツ大会を開催する。	出場校区率	100%	87%	10月29日 ウィンク陸上競技場で開催 グラウンドゴルフ（50チーム300人） 輪投げ競技（37チーム222人）	A	輪投げ競技を再開したが、2競技両方に 参加する校区は従来より減少してしまった ものの、グラウンドゴルフは従来より人気 があり、参加校区も多く、輪投げ競技につ いても参加者の満足度は高かったと考える。 日頃の練習の成果を発揮できる場として 機能しており目標を達成できた。	100%	高齢者政策課
2	生涯現役体操教室 の実施	年齢や体力を問わず、気軽に身 体を動かせる「生涯現役ガンバル ンバ体操」や、さまざまな運動を行 う教室を開催する。	定員充足率	100%	100%	・普及啓発用パンフレットの制作・配布（在庫対応） ・各種講座・イベントでのデモンストレーション（計1回） ・ガンバルンバ体操＆サプライズ健康教室の開催（計 23回、参加者のべ940人） ※「ガンバルンバ体操ひろめ隊」との協働により実施	A	健康教室は平均40名が参加しており、 健康教室参加者の満足度は高いと思わ れる。また、地域包括支援センターや病 院の理学療法士から体操DVDやパン フレット配布の要望が寄せられるなど、高 齢者の健康増進に寄与できたと考える。	100%	高齢者政策課
3	市民歩こう会の実施	市内各ブロックで歩こう会を開催す る。	参加者数	500人	331人	市内6ブロックで実施 ・北中部 令和6年4月28日(日) 置塩公民館発着 ・南西部 令和6年5月12日(日) なぎさ公園発着 ※雨天中止 ・北東部 令和6年10月20日(日) 増位小学校発 着 ・南東部 令和6年11月10日(日) 大塩小学校発 着 ・北西部 令和7年3月2日(日) 伊勢小学校発着 ※雨天中止 ・南中部 令和7年3月16日(日) 城巽公民館発着 ※雨天中止	A	各ブロック共に子どもから高齢者まで幅広 い年代が参加しており、健康面だけでな く、年代を超えた地域のコミュニケーション の推進にもつながっている。	600人	スポーツ振興室
4	地域スポーツ振興事 業の実施	スポーツクラブ21に事業の実施を 委託し、すべての校区で年間を通 して実施する。	実施校区数	71校区	70校区	・1校区を除くすべての校区（70クラブ）で実施 ・実施されたすべての校区において、多種多様なスポー ツイベントを行い、各校区全住民を対象に健康づくりを推 進	A	歩こう会やベタンク等、老若男女問わず 参加できるスポーツイベントを各校区の ニーズに合わせて開催し、校区住民の交 流を深めることができた。	71校区	スポーツ振興室
5	地域スポーツクラブの 活動支援	各校区スポーツクラブ21で構成さ れた姫路市スポーツクラブ21協議 会を通じて、クラブ相互の交流事 業を行う。	交流大会の参加 者数	600人	780人	姫路市スポーツクラブ21協議会を通じて、クラブ相互の 交流事業などを実施 ・全市交流大会（バドミントン、ベタンク、モルック、グラ ウンドゴルフ） ・ブロック交流大会	A	各ブロックで特色に応じたスポーツイベン トを行うことで、より多くの参加者に、より身 近にスポーツに触れ合う機会を作ることが できた。	1,200人	スポーツ振興室

6	各種体育施設・健康づくり施設の運営	市民が各自の年齢や体力に応じ、気軽に健康づくりに取り組める施設を運営する。（網干健康増進センター、すこやかセンター、夢前福祉センター、総合スポーツ会館等）	利用者数 （網干健康増進センター（健康づくり施設））	140,000人	138,614人	近隣市の温浴施設が令和6年1月に閉館したため、温浴施設の利用者が増加した。結果、利用者数は前年度と比較し、約19,000人増加となった。	A	利用者数の目標値を概ね達成することができた。	170,000人	エコパークあぼし （網干健康増進センター）
7			利用者数 （すこやかセンター（健康づくり施設））	179,000人	146,794人	サービスプログラム内容の定期的更新および内容充実、自主事業の充実を図った。	B	新型コロナウイルス感染拡大前の利用状況にまでは戻っていないものの、徐々に利用者数は回復してきており、利用者の評価も概ね好評であった。	179,000人	地域福祉課 （すこやかセンター（健康づくり施設））
8			利用者数 （夢前福祉センター（健康づくり施設））	60,000人	63,732人	・開館日数 306日 ・施設総利用者数 57,987人 ・健康施設利用者数 63,732人 ※延べ人数 ・広報、アンケート実施	A	利用者数は前年度を上回り、目標値を達成。順調に増加している。	65,000人	高齢者政策課 （夢前福祉センター（健康づくり施設））
9			利用者数 （総合スポーツ会館等30施設）	1,200,000人	1,224,148人	過去に新型コロナウイルス感染症の影響で減少していた利用者数も以前の水準に回復し、目標値を上回る利用者数となった。 ・各体育施設の管理運営（指定管理26施設、直営施設 3 施設、民間体育施設一般開放事業 1 施設）	A	幼児から高齢者まで幅広い年齢層を対象に教室事業やイベントを開催しており、継続して利用する利用者も多く、生涯現役社会の実現に向けた取り組みができているものと思われる。	130万人	スポーツ振興室 （総合スポーツ会館等30施設）
10	市民会館・地区市民センターの運営	教養講座（健康づくり・音楽・芸術等）の開設や貸館業務など、地域のコミュニティ施設として、市民会館・地区市民センター・家島交流センター（R6.10開館）を運営する。	利用率	58%	53.7%	各種教養講座のPRや指定管理者における自主事業の実施により、利用者数の確保に努めた。 また、老朽化した備品の計画的な更新を行い、快適な施設環境改善に努めた。 【家島交流センター】 ・令和6年10月開館 ・開館日 火～日曜日（祝日、年末年始を除く。） ・利用人数 3,474人	B	目標数値を概ね達成することができた。また、利用者の満足度も高かった。	60%	市民活動推進課

② 科学的知見に基づいた健康づくり

No.	事業名	事業概要	R 6 事業実績				生涯現役の視点からの総合評価		R 8（後期最終年度） 目標値 又は 達成目標	担当課
			指標／目標値 又は 達成目標		実績値 又は 達成状況	内容				
11-1	フレイル予防アプリの活用	高齢者自身が好きなタイミングや場所で、楽しく気軽にフレイル予防や認知症予防の取り組みに参加できるフレイル予防アプリを活用する。	アプリダウンロード数・ポイント付与人数	6,300件	7,912件	(1) フレイル予防・認知症予防に関する機能 ・歩数計測・脳トレ・健康管理・食事管理など、介護予防や健康増進に有効な機能を有する。 (2) デジタル・ディバイド対策に関する機能 ・アプリの利用実績やイベントへの参加等に応じて、アプリ内で健康ポイントを付与し、健康ポイントは電子マネーに交換可能とする。 令和6年 4月19日 調達公告 (公募型プロポーザル) 6月 3日 事業者決定 7月31日 契約締結・導入準備開始 9月 2日 サービス開始	A	アプリダウンロード数及びポイント付与人数の目標値を達成できたほか、利用者の歩数や脳トレ回数などが上昇していることから、単にアプリをダウンロードするだけではなく、アプリを利用してフレイル予防に取り組むことができている。	6,300件	高齢者支援課
11-2	シニア健康づくり事業の実施	市内大学や民間企業等と連携し、科学的知見に基づいた効果的な健康プログラム講座の開催や健康づくりイベント等を開催する。	市内大学と連携し、科学的知見に基づいた効果的な健康プログラムを普及・啓発する。	科学的知見に基づいて考案した健康体操の啓発を行った。	令和4年度をもって終了		—	—	—	(旧) 生涯現役推進室

（２）健康づくりに取り組む人への支援【重点施策・健康増進事業】

① 相談窓口の設置

No.	事業名	事業概要	R 6 事業実績			生涯現役の視点からの総合評価		R 8（後期最終年度） 目標値 又は 達成目標	担当課
			指標／目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容				
12	介護予防普及啓発事業の実施	地域において高齢者がいつまでも元気であること（介護予防）の必要性に関する講演会や体の衰えに対する相談会を開催する。	講演会・相談会の開催回数（いきいき百歳体操を除く。）	700回	522回	・保健センター及び地域包括支援センターによる講演会・教室及び相談会等の開催 ・保健センター及び地域包括支援センターによるいきいき百歳体操のグループ立ち上げ支援	B	目標は達成できなかったが、地域場に出向き、普及啓発に取り組むことができた。	高齢者支援課
13	健康増進のための啓発・教育・相談の充実	適切な食生活や運動、禁煙、口腔の手入れ、フレイル予防等、望ましい生活習慣についての知識を普及させるため、健康教育や健康相談を実施する。	健康教育の実施回数	120回	93回	集団健康教育 93回 【内訳】 ・重点健康教育 27回（一般・歯周疾患・ロコモティブシンドローム・薬等） ・その他健康教育 66回	B	実施回数は目標値に達していないものの、参加者の満足度は高く、生活習慣病予防やフレイル予防・介護予防など、生涯現役につながる内容を啓発することができた。	保健所健康課

② 健康づくりの担い手への支援

No.	事業名	事業概要	R 6 事業実績			生涯現役の視点からの総合評価		R 8（後期最終年度） 目標値 又は 達成目標	担当課
			指標／目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容				
14	食生活改善ボランティアリーダーの養成	姫路いずみ会のリーダーを養成するための講習会を開催する。	受講者数	20人	8人（修了者）	・開催回数 8回（6月～翌年2月までの各月1回） ・参加者 8人	B	教室で得た知識を日々の生活に活用し、食事バランスや食意識は良くなったと思われる。教室受講者修了者は、食生活改善ボランティアリーダーとして今後地域で活動する予定。	保健所健康課
15	高齢者向け運動指導者養成講習会の開催	地域においてスポーツを推進する指導者を対象とした講習会を開催する。	受講者数	100人	204人	体力テスト会講習会 参加人数：11人 卓球バレー体験講習会 参加人数：45人 モルック体験講習会 参加人数：72人 スナッグゴルフ体験講習会 参加人数：21人 （R 3～R 6 累計 697人）	A	講習会後は用具の購入方法や貸与について問い合わせがあり、生涯スポーツへの興味を引き出せたと考えられるため、高齢者の健康増進、生涯現役社会の推進に寄与するものであると言える。	550人 （R 3～R 8 累計） スポーツ振興室
16	高齢者の自主的な健康づくり活動への支援	「いきいき百歳体操」を住民に提案し、地域住民が主体となった健康づくり・介護予防活動を実践できるよう支援する。	自主活動グループ数	570グループ	481グループ	・保健センター及び地域包括支援センターによる講演会・教室及び相談会等の開催 ・保健センター及び地域包括支援センターによるいきいき百歳体操のグループ立ち上げ支援	B	地域包括支援センターと保健センターが立ち上げ支援・継続支援に取り組んでおり、総合的に判断すると概ね目標は達成できた。	高齢者支援課 保健所健康課

③ 活動資金の支援

No.	事業名	事業概要	R 6 事業実績			生涯現役の視点からの総合評価		R 8（後期最終年度） 目標値 又は 達成目標	担当課
			指標／目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容				
17-1	老人クラブ活動への助成	老人クラブが実施するさまざまな活動に対し助成を行う。 ※健康増進活動のみ抜粋	助成校区率（生涯現役地域活動助成事業のうち、健康増進事業）	80%	85%	健康増進活動 対象：30校区	A	医師や理学療法士などの専門職による健康講座の開催や、スポーツイベントを実施するなど、高齢者の健康維持や交流促進に寄与できた。	高齢者政策課

（３）健康づくりに関する意識啓発

① 情報提供や意識啓発

No.	事業名	事業概要	R 6 事業実績			生涯現役の視点からの総合評価		R 8（後期最終年度） 目標値 又は 達成目標	担当課	
			指標／目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容					
18	地域放送メディアや 動画配信を通した運 動講座の実施	ケーブルテレビやインターネット動画 配信を通して、高齢者向けの運動 を紹介し、高齢者が自主的に健 康づくりに取り組めるように支援す る。	高齢者向けの運動番組を毎日放 送し、多くの人が自主的に健康づく りに取り組んでいる。	多くの人が自主 的に健康づく りに取り組めるよ う、高齢者向け の運動動画をイ ンターネットで配 信した。	インターネット動画配信を通して、高齢者向けの運動を 紹介し、高齢者の自主的な健康づくりへの取り組みを支 援した。 ※ケーブルテレビ番組は令和 5 年度をもって廃止 ※インターネット動画配信は継続	A	メディアを通じた生涯現役の意識啓発とし てうまく機能している。	高齢者向けの運動番組を 毎日放送し、多くの人が自 主的に健康づくりに取り組 んでいる。	高齢者政策課	
再掲	介護予防普及啓発 事業の実施 ※No.12再掲	地域において高齢者がいつまでも 元気であること（介護予防）の必 要性に関する講演会や体の衰え に対する相談会を開催する。	講演会・相談会の 開催回数（いきい き百歳体操を除く。）	700回	522回	・保健センター及び地域包括支援センターによる講演 会・教室及び相談会等の開催 ・保健センター及び地域包括支援センターによるいきいき 百歳体操のグループ立ち上げ支援	B	目標は達成できなかったが、地域の場 に出向き、普及啓発に取り組むことがで きた。	750回	高齢者支援課
再掲	健康増進のための啓 発・教育・相談の充 実 ※No.13再掲	適切な食生活や運動、禁煙、口 腔の手入れ、フレイル予防等、望 ましい生活習慣についての知識を 普及させるため、健康教育や健康 相談を実施する。	健康教育の実施 回数	120回	93回	集団健康教育 93回 【内訳】 ・重点健康教育 27回 （一般・歯周疾患・ロコモティブシンドローム・薬等） ・その他健康教育 66回	B	実施回数は目標値に達していないもの の、参加者の満足度は高く、生活習慣病 予防やフレイル予防・介護予防など、生 涯現役につながる内容を啓発することがで きた。	140回	保健所健康課

2. 役割創出・社会貢献

（１）社会貢献活動の機会・場の充実

① ボランティア活動の機会・場の充実

No.	事業名	事業概要	R 6 事業実績			生涯現役の視点からの総合評価		R 8（後期最終年度） 目標値 又は 達成目標	担当課	
			指標／目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容					
19	見守りウォーキングの 実施	日常生活の中で気軽に実施できる「ながら見守り」による地域の見守り力向上を目的とした、ボランティア登録制度を運用する。	登録者の活動の促進を図ることで、地域における「ながら見守り」活動が定着し、地域の見守り力が向上している。		登録者の活動の促進を図ることで、地域における「ながら見守り」活動が定着し、安全面の確保につながった。	ボランティア登録制度を運用し、新規で124人の登録があった。	A	見守り活動に参加してもらい、地域の見守り力の向上に貢献できた。	登録者の活動の促進を図ることで、地域における「ながら見守り」活動が定着し、地域の見守り力が向上している。	危機管理室
20	住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためのボランティア活動の充実	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように「あんしんサポーター」がボランティア活動を行う。	あんしんサポーター登録者数	820人	767人	・養成研修の開催について、ホームページを活用し情報提供。 ・介護支援ボランティア手帳に替わるスマートフォンアプリ「ひめパス」を運用。活動交付金の交付に際し、ひめじポイントで付与。 ・全体交流会や研修会とは別に、全市的には展開できていないが、準基幹単位や、地域包括支援センター単位でボランティア同士の交流や情報交換を目的とした交流会の開催がある。 ・散歩やいきいき百歳体操の参加支援だけでなく、令和6年9月からは買い物支援（同行支援）も実施している。	B	ボランティア活動をしたいニーズとのコーディネートが難しく、登録者に十分な活動の場を提供できていない。	900人	高齢者支援課

21	スクールヘルパー制度の推進	地域ボランティア「スクールヘルパー」が登下校時の声かけ、校内巡回等の活動を行う。	登録者数	16,000人	16,455人	・スクールヘルパーの募集 ・活動用具等の準備 ・補助金振込	A	今後PTA活動の廃止などの理由で登録者数の減少が想定されるが、現状において高水準を維持しているのは、「地域で子供たちを見守る」という地域の方々の思いと継続的な協力によるものと考えられる。	15,000人	健康教育課
22	各種ボランティアの活用（観光、国際交流、文化振興、美術館、文学館）	市が実施する事業・イベントに協力するボランティアを募集・活用する。	登録者数	930人	701人	姫路お城まつり、観桜会、姫路城観月会でイベントボランティアの募集を行い、合計43人が参加。また、3月24日には、姫路市イベントボランティアや観光ボランティアガイド、タクシー乗務員・協会役員、観光関連事業者等を対象に「観光ボランティアおもてなし研修会」を実施し、延べ35人の参加があった。	A	イベント開催にあたり、姫路市観光ボランティアへの積極的な参加募集や観光おもてなし研修会を実施し、市民によるボランティア活動の機会の拡大や今後の活動に向けた学びの機会の充実を図った。	950人	観光コンベンション室
23-1			ボランティア登録人数・養成講座参加人数	1,400人	831人	・日本語学習支援ボランティア養成講座 受講修了者35人 ・ひめじ国際交流フェスティバル ボランティア参加700人 ・通訳翻訳ボランティア（19人）、ホストファミリーボランティア（8人）等随時募集	B	数値目標には届かなかったものの、あらゆる世代の方々にボランティア等に参加・登録していただくことができた。	1,400人	文化国際課（国際交流）
23-2			ボランティア登録人数	50人	43人	ル・ポン国際音楽祭 ・文化ボランティア 13人 ・通訳ボランティア 30人	B	数値目標には届かなかったものの、積極的な活動により事業実施に貢献した。	50人	文化国際課（文化振興）
24			ボランティアリーダーを中心に、美術館ボランティアが美術館の運営を支える重要なスタッフとして活動している。		ボランティアリーダーを中心に、美術館ボランティアが美術館の運営を支える重要なスタッフとして活動できた。	登録ボランティアが8つの班に属して、前年度実績をベースに活動を行った。また、新規登録者募集を推進した。	B	ボランティアリーダーを中心に美術館の円滑な運営に寄与している。また、同活動は世代間交流の場でもあり、幅広い世代が「生涯現役」について考える機会となったとともに、高齢者の社会参画と生きがいづくりに資することができた。	ボランティア活動の満足度を高め、美術館の運営を支える重要なスタッフとして活動している。	美術館総務課
25			1月あたりのボランティア活動人数（延べ）	70人	63人	発送作業、行事受付などの活動のほか、イベントの運営やワーキンググループ活動等を実施	A	ボランティアとのコミュニケーションを密にし、過大な負担をかけることなく学びと活躍の機会の充実に努めた。新たな取り組みも始めることができた。	70人	姫路文学館学芸課

（２） 社会貢献活動に取り組む人への支援【重点施策・役割就労事業】

① 相談窓口の設置

No.	事業名	事業概要	R 6 事業実績				生涯現役の視点からの総合評価		R 8（後期最終年度） 目標値 又は 達成目標	担当課
			指標／目標値 又は 達成目標		実績値 又は 達成状況	内容				
26	市民活動に関する相談機能の充実	ボランティアやNPO活動に関する相談を受け、活動への参加機会の拡充を図る。	相談件数	390件	267件	市民活動・ボランティアサポートセンター職員が、ボランティア団体等を中心とした市民活動に関する相談に対して個別・具体的に対応した。	B	相談件数は昨年度より減少したが、ボランティア活動に関する個別・具体的な相談が増加しつつあり、きめ細やかに対応できた。	410件	市民活動推進課 （市民活動・ボランティアサポートセンター）
27	生涯現役推進専門員の配置	生涯現役に関する相談に応じ、活動のコーディネートを行う専門員を配置する。	生涯現役に関する講演活動のほか、相談内容に応じた情報提供や関係機関の紹介など、生涯現役で過ごすための支援が行えている。		生涯現役に関する講演活動のほか、相談内容に応じた情報提供や関係機関の紹介など、生涯現役で過ごすための支援が行えた。	・相談業務の実施（年間129件） ・情報の収集・発信 ・生涯現役人材バンクの運営 ・相談窓口設置のP R活動	A	高齢者の多様なニーズに応えることに努め、本来の趣旨である高齢者の生涯現役に資することができた。	生涯現役に関する講演活動のほか、相談内容に応じた情報提供や関係機関の紹介など、生涯現役で過ごすための支援が行えている。	高齢者政策課

② 活動への参加促進

No.	事業名	事業概要	R 6 事業実績			生涯現役の視点からの総合評価	R 8（後期最終年度） 目標値 又は 達成目標	担当課		
			指標／目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容					
28	市民活動に関する講座・研修会の開催	市民活動に対する啓発や参加促進を目的とした講座・研修会を実施する。	受講者数	120人	197人	各種講座・研修会等の実施（５講座６回）	A	内容的に充実し、目標人数にも達した。	市民活動推進課 （市民活動・ボランティアサポートセンター）	
29	地域の新しい担い手づくりの推進	自ら地域課題を見つけ、解決する力を持つ「新しい担い手」を養成するための講座等を開催する。	受講者数	30人	115人	セカンドライフ応援講座 いいこと尽くめ！「今活」と「終活」のススメ ・11/25(月)・11/28(木) (R3～6累計：252人)	A	高齢者も活用できるキャッシュレス決済や、終活に関わる手続きに必要なノウハウを伝える内容の講座ができた。	180人 (R 3～R 8 累計)	高齢者政策課
再掲	食生活改善ボランティアリーダーの養成 ※No.14再掲	姫路いずみ会のリーダーを養成するための講習会を開催する。	受講者数	20人	8人（修了者）	・開催回数 8回（6月～翌年2月までの各月1回） ・参加者 8人	B	教室で得た知識を日々の生活に活用し、食事バランスや食意識は良くなったと思われる。教室受講者修了者は、食生活改善ボランティアリーダーとして今後地域で活動する予定。	20人	保健所健康課
再掲	スポーツ指導者養成講習会の開催 ※No.15再掲	地域においてスポーツを推進する指導者を対象とした講習会を開催する。	受講者数	100人	204人	体力テスト会講習会 参加人数：11人 卓球バレー体験講習会 参加人数：45人 モルック体験講習会 参加人数：72人 スナッグゴルフ体験講習会 参加人数：21人 (R 3～R 6 累計 697人)	A	講習会後は用具の購入方法や貸与について問い合わせがあり、生涯スポーツへの興味を引き出せたと考えられるため、高齢者の健康増進、生涯現役社会の推進に寄与するものであると言える。	550人 (R 3～R 8 累計)	スポーツ振興室
再掲	見守りウォーキングの実施 ※No.19再掲	日常生活の中で気軽に実施できる「ながら見守り」による地域の見守り力向上を目的とした、ボランティア登録制度を運用する。	登録者の活動の促進を図ることで、地域における「ながら見守り」活動が定着し、地域の見守り力が向上している。		登録者の活動の促進を図ることで、地域における「ながら見守り」活動が定着し、安全面の確保につながった。	ボランティア登録制度を運用し、新規で124人の登録があった。	A	見守り活動に参加をしてもらい、地域の見守り力の向上に貢献できた。	登録者の活動の促進を図ることで、地域における「ながら見守り」活動が定着し、地域の見守り力が向上している。	危機管理室

③ コーディネート組織の設置

No.	事業名	事業概要	R 6 事業実績			生涯現役の視点からの総合評価		R 8（後期最終年度） 目標値 又は 達成目標	担当課
			指標／目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容				
30	個人ボランティア登録制度の実施	ボランティアに関する情報提供を行う個人登録制度を実施する。	登録者数	440人	388人	・ボランティア募集記事を掲載した通信を毎月発送 ・センター公式SNSを運用し、ボランティア募集等に関する情報を発信	B	高齢化に伴い退会する登録者が増加傾向にある一方、反面新たな担い手の確保もできているほか、紹介できるボランティアメニューも増えつつある。	市民活動推進課 （市民活動・ボランティアサポートセンター）
31-1	生涯現役人材バンクの設置	長年培った知識や経験、技術を持つ高齢者を登録し、その能力を求める市民とのマッチングを行う。	マッチング件数	60件	54件	・市民からの依頼に応じ、適した人材をマッチング ・公民館、老人クラブへの活用依頼 ・広報ひめじ、チラシ配布等による活用PR	B	目標値を達成できなかったが、活動後のアンケートで満足度が高かったため、高齢者の社会参加や生きがいづくりを促進できた考える。	高齢者政策課
32	ファミリーサポートセンター事業の充実	子育ての援助を受けたい人と援助を行いたい人を登録し、子育ての援助活動を行う。	60歳以上の提供・両方会員（子育ての援助を行う人）の数	236人	268人	・登録会員数 2,539人 依頼会員1,735人、提供会員685人（うち60歳以上268人）、両方会員119人 ・援助活動件数 3,208件 ・事業説明会の開催 170回（255人参加） ・講習会、交流会の開催 ・各種媒体による会員募集	A	実際に活動している会員間（提供会員・両方会員と依頼者・その子ども）の結び付きは強く、双方の満足度は高い。	こども支援課 （子育て情報相談室）

④ 活動資金の支援

No.	事業名	事業概要	R 6 事業実績				生涯現役の視点からの総合評価		R 8（後期最終年度） 目標値 又は 達成目標	担当課
			指標／目標値 又は 達成目標		実績値 又は 達成状況	内容				
33	こども見守り隊への助成	連合自治会等の団体が行う通学路の立番や防犯パトロール等の活動に対し助成する。	助成地区数	73団体	71団体	連合自治会（71地区）に対し、15万円を上限に助成した。 青パトに係る臨時的経費として、青パトを所有する団体（6団体）に対し、5万円を上限に助成した。	A	こども見守り隊の主な活動員は高齢者だが、児童や生徒への見守りを通じて交流を深める機会になった。	73団体	危機管理室
34	提案型協働事業の実施	市民と行政が協働して行う事業の提案を募集し、選定された事業に対して補助を行う。	高齢者関係の採択件数	2件	1件	4月8日～5月7日 提案募集 6月9日 審査会開催 6月24日 採択団体決定 （R 3～R 6 累計 18件）	B	高齢者を対象とした事業や、高齢者が活躍できる事業については、毎年度、一定数の提案があり、関心が高い。令和6年度は、目標値には至らなかったが、高齢者に関わる問題について、民間でも高い関心と危機感を持って取り組んでいただいていると実感できた。	12件 （R 3～R 8 累計）	市民活動推進課

⑤ 活動に関する情報提供

No.	事業名	事業概要	R 6 事業実績			生涯現役の視点からの総合評価	R 8（後期最終年度） 目標値 又は 達成目標	担当課		
			指標／目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容					
35	市民活動団体登録制度の実施	市民活動団体の登録制度を実施し、情報や交流機会を提供する。	登録団体数	400団体	351団体	・印刷室、活動室の利用 ・ボランティア活動に関する情報提供や相談対応、活動 P R ・市内公共施設の使用料減免 ・「ひめじdeボランティア」等の連携交流会の実施	B	高齢化等に伴う活動休止が増加する一方で、連携交流事業の実施を通じて新たな担い手の確保に繋げることができている。	420団体	市民活動推進課 （市民活動・ボランティアサポートセンター）
36	市民活動に関する情報の収集・提供	市民活動に関する情報を収集し、さまざまな媒体を活用して提供する。	市民活動ネットひめじへのアクセス数	15,000件	15,684件	ボランティア活動やNPO活動などの市民活動に関する情報を収集し、さまざまな媒体を活用して情報発信することで、社会貢献活動への参加の促進を図った。	B	SNSの利用によりフォロワー数も増え、より幅広い世代への情報発信ができた。	25,000件	市民活動推進課 （市民活動・ボランティアサポートセンター）
37	生涯現役の推進に貢献している団体の表彰	生涯現役を推進する活動を行っている団体を表彰し、その取り組みを全市に広げる。	受賞団体数	4団体	2団体	姫路市老人クラブ連合会から推薦を受けた校区老人クラブ及び単位老人クラブを表彰。5月24日開催の姫路市老人クラブ連合会大会にて表彰状を授与。 （R 3～R 6 累計 11団体）	A	数値目標は下回ったが、生涯現役を推進する活動を熱心に行う団体を顕彰し、その活動を他の団体にも広めるという事業の目的は達成できた。	24団体 （R 3～R 8 累計）	高齢者政策課

⑥ 老人クラブ活動への支援

No.	事業名	事業概要	R 6 事業実績			生涯現役の視点からの総合評価		R 8（後期最終年度） 目標値 又は 達成目標	担当課
			指標／目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容				
38	アドバイザー派遣事業の実施	老人クラブからの要望に応じて、各老人クラブの課題解決に有効な研修等となるようアドバイザーを派遣する。	老人クラブ活動の課題の解決や活性化のために、アドバイザーを派遣する。	連合自治会から、校区内の老人クラブを含む各種地域団体の代表者等を対象とした地域課題の解決のためのアドバイザーの派遣依頼があり、最適なアドバイザーを選定、派遣した。	老人クラブからの派遣要望はなかったが、地域を代表する団体であるまちづくり協議会や連合自治会から、老人クラブを含む地域団体の活性化や、高齢者を含む住民の地域活動への関わり方といった地域課題の解決のためのアドバイザーの派遣依頼があったため、最適なアドバイザーを選定し、派遣した。 令和6年度派遣回数 3回（3団体）	B	老人クラブ活動の課題の解決や活性化のために、老人クラブからの要望に応じてアドバイザーを派遣する体制を整えている。	老人クラブ活動の課題の解決や活性化のために、アドバイザーを派遣する。	市民活動推進課

17-2	老人クラブ活動への助成	老人クラブが実施するさまざまな活動に対し助成を行う。	助成校区率（生涯現役地域活動助成事業のうち、地域活動事業）	70%	89%	・老人クラブ活動助成事業 社会奉仕活動、教養・文化活動、健康増進活動 ・老人クラブたすけあい運動推進事業 子育て支援活動、地域見守り活動 ・生涯現役地域活動助成事業 地域交流活動 対象：36校区 健康増進活動 対象：30校区	A	夏季の猛暑やインフルエンザ流行の影響はあったが、本事業参加者の満足度は高く、高齢者の生きがいづくり及び地域の住民や世代間の交流を促進することができた。	80%	高齢者政策課
39	老人クラブの加入促進活動への支援	老人クラブの加入促進活動を支援する。	会員数	35,000人	31,882人	姫路市老人クラブ連合会が実施する加入促進活動に対して資金面等で援助を行った。	B	老人クラブの解散に伴い会員数は減少したが、チラシやリーフレット配布によるPR活動や、活性化特別委員会の開催を支援できた。	45,000人	高齢者政策課
40	老人憩の家整備補助事業の実施	老人クラブの活動拠点を充実させるため、備品購入費を補助する。	補助申請率	94%	85%	老人憩の家の整備充実を図るため、備品購入費を補助した（1箇所につき20万円まで）。 助成予定数35箇所、助成数30箇所	A	申請件数は目標値を下回ったが、クラブ会長から満足の意見が多数あり、老人クラブの活発な活動を促進できた。	95%	高齢者政策課

（３）就業への支援【重点施策・役割就労事業】

① 就業機会の提供

No.	事業名	事業概要	R 6 事業実績			生涯現役の視点からの総合評価	R 8（後期最終年度） 目標値 又は 達成目標	担当課		
			指標／目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容					
41	高齢者の希望にあった多様な働き方の促進	高齢者の雇用に積極的な事業所を認定し、就職支援サイト「JOB播磨」に掲載するなど、高齢者と企業のマッチングを促進する。	働きたい高齢者が、自身の経験や能力を生かし、希望にあった仕事に就けるような仕組みが整備されている。	就労意欲のあるシニアが生涯現役で活躍できる場を広げるため、認定された事業所名を市公式ウェブサイト等で情報提供を行った。	シニア活躍事業所 ・7月～8月 事業所募集、9月 認定審査、10月 認定事業所決定・公表（新たに2事業所を認定） JOB播磨 ・企業情報や求人情報の掲載 ・掲載企業数372社（令和7年3月31日現在） ※高齢者に限定したものではない ・シニア活躍事業所をJOB播磨上で紹介（掲載数：4社）	B	シニア活躍事業所として新たに2事業所を認定し、その事業所名と取組内容をPRできた。求人情報やシニア活躍事業所をJOB播磨上で紹介した。	働きたい高齢者が、自身の経験や能力を生かし、希望にあった仕事に就けるような仕組みが整備されている。	高齢者政策課 労働政策課	
42		ハローワーク等関係機関と連携しながら、高齢者の希望に合った多様な働き方を促進する。	働きたい高齢者が、自身の経験や能力を生かし、希望にあった仕事に就けるような仕組みが整備されている。		西はりまシニア就職面接会の共催 参加事業所数：15社 参加人数：63人 採用者数：15人	A	働きたい高齢者に就職活動に必要な情報を提供するとともに、就職マッチングの機会を提供し、15人の採用につながった。	働きたい高齢者が、自身の経験や能力を生かし、希望にあった仕事に就けるような仕組みが整備されている。	労働政策課	
43	シルバー人材センターへの支援	シルバー人材センター事業の活性化を支援するため、運営費等を助成する。	会員数	2,500人	2,089人	シルバー人材センター事業の活性化を支援するため、事業費等を助成した。	A	会員数が目標値には届かなかったものの、高齢者の就業機会の確保とその福祉の増進を図り、その能力を活かした活力ある地域づくり及び生涯現役社会の推進に寄与している。	2,500人	労働政策課

② 就業に関する相談等

No.	事業名	事業概要	R 6 事業実績				生涯現役の視点からの総合評価		R 8（後期最終年度） 目標値 又は 達成目標	担当課
			指標／目標値 又は 達成目標		実績値 又は 達成状況	内容				
44	姫路しごと支援センター、雇用アドバイザーの活用、雇用情報の提供	姫路しごと支援センターにおいて、就職に関する相談等の支援を行う。また、雇用アドバイザーによる雇用相談や求人情報の提供を行うとともに、弁護士や社会保険労務士による労働相談を行う。	相談件数	1,000件	1,338件	・姫路しごと支援センター実績 相談件数：967件、新規登録者数：324人 カウンセリング件数：767件、就職者数：73件 セミナー参加者数：217人 （就職セミナー10講座、パソコン講座9講座） ・雇用アドバイザーによる雇用相談や求人情報の提供 249件 ・弁護士、社会保険労務士による労働相談 122件 ※いずれも高齢者に限定したものではない	A	多くの市民に活用いただきながら、目標値を上回る件数の相談を受けることができ、十分な成果を上げることができた。	1,000件	労働政策課

③ 企業への働きかけ

No.	事業名	事業概要	R 6 事業実績			生涯現役の視点からの総合評価		R 8（後期最終年度） 目標値 又は 達成目標	担当課
			指標／目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容				
45	高齢者の雇用に関する企業への働きかけ	定年の引上げや継続雇用、勤務体系の弾力化等、高齢者の雇用促進・雇用環境整備等の取り組みを企業に働きかける。	高齢者の活用・雇用促進のための環境が整備されている。	高齢者の活用・雇用促進のための環境が整備されている。	・パンフレットの窓口配布 ・高齢者雇用支援に取り組む兵庫県雇用開発協会への支援 630千円 ・高齢者を対象とした国・県の雇用助成制度の周知	B	情報提供や雇用開発協会の各種活動を通じ、高齢者の雇用に関する企業への働きかけが実施できている。	高齢者の活用・雇用促進のための環境が整備されている。	労働政策課
再掲	高齢者の希望にあった多様な働き方の促進 ※No.41再掲	高齢者の雇用に積極的な事業所を認定し、就職支援サイト「JOB播磨」に掲載するなど、高齢者と企業のマッチングを促進する。	働きたい高齢者が、自身の経験や能力を生かし、希望にあった仕事に就けるような仕組みが整備されている。	就労意欲のあるシニアが生涯現役で活躍できる場を広げるため、認定された事業所名を市公式ウェブサイト等で情報提供を行った。	シニア活躍事業所 ・7月～8月 事業所募集、9月 認定審査、10月 認定事業所決定・公表（新たに2事業所を認定） JOB播磨 ・企業情報や求人情報の掲載 ・掲載企業数372社（令和7年3月31日現在） ※高齢者に限定したものではない ・シニア活躍事業所をJOB播磨上で紹介（掲載数：4社）	B	シニア活躍事業所として新たに2事業所を認定し、その事業所名と取組内容をPRできた。求人情報やシニア活躍事業所をJOB播磨上で紹介した。	働きたい高齢者が、自身の経験や能力を生かし、希望にあった仕事に就けるような仕組みが整備されている。	高齢者政策課 労働政策課

（４） 起業・開業への支援

① 起業・開業への支援

No.	事業名	事業概要	R 6 事業実績				生涯現役の視点からの総合評価		R 8（後期最終年度） 目標値 又は 達成目標	担当課
			指標／目標値 又は 達成目標		実績値 又は 達成状況	内容				
46	起業を支援する講座 の充実	起業家を育成する創業・起業セ ミナーや起業家フォローアップセミ ナーを、関係機関と連携し開催する。	55歳以上の受講 者数	16人	40人	・創業セミナーの開催 ・創業スタートアップセミナーの開催	A	毎年一定数の参加者を得られており、受 講者満足度も高いため、生涯現役の推 進に一定の効果があったと思われる。	28人	産業振興課

3 学習・社会参加

(1) 学習活動の機会・場の充実【重点施策・学びの充実事業】

① 学習する機会・場の充実

No.	事業名	事業概要	R 6 事業実績				生涯現役の視点からの総合評価		R 8（後期最終年度） 目標値 又は 達成目標	担当課
			指標／目標値 又は 達成目標		実績値 又は 達成状況	内容				
47	オープンカレッジの開催	市内の大学が開設する公開講座に対し支援する。	講座数	5講座	6講座	市内 5 大学 6 キャンパスで開催 ・開催時期 9～11月 ・回数 講座毎に 5 回程度 ・定員 各回50人程度	A	すべての市内大学（6 キャンパス）で講座を開催することができ、数値目標を達成した。また、高齢者が参加しやすいよう広報を行い、多くの高齢者が受講していることから、事業目標は十分達成できたものといえる。	5 講座	高等教育室
48	生涯現役応援講座の開催	生涯現役をめざして自分らしくいきいきとした生活が送れるよう応援するための講座を開催する。	定員充足率	—	令和 5 年度以降廃止	生涯現役応援講座「自分らしい人生のしめくり講座」として、自分らしい終末や葬儀の生前準備について学ぶ。 ※令和 5 年度以降廃止	—	—	—	男女共同参画推進センター
49	高齢者消費者被害防止講座の開催	高齢者を対象にした市政出前講座を実施し、最新の相談事例や契約の知識、悪質商法の手口、クーリングオフ制度などの知識を深めてもらい、消費者被害等の防止を図る。	講座回数	40回	37回	・最新の相談事例や契約の知識、悪質商法の手口、クーリング・オフ制度等について出前講座を実施した。 ・生涯学習大学校において、高齢者や身近で見守る人を対象とした「高齢者消費者被害防止講座～金融犯罪の手口と対策～」を 9 月 26 日に開催した。	A	高齢者に消費者トラブルの未然・拡大防止の啓発を多方面で実施できた。	50回	消費生活センター
50	農業体験研修事業の実施	農業の多様な担い手を育成する農業研修「ひめじ帰農塾」と、市政出前講座などを活用した栽培講座「ひめじ楽園塾」、また研修修了生から栽培指導ボランティア「ひめじアグリダー」を育成する。	受講者数	900人	1,456人	○「ひめじ帰農塾」 講座部門 ・座学コース 68人 実習部門 ・野菜コース 11人 ・果樹コース 12人 ・花苗コース 10人 ○「ひめじ楽園塾」 全42回開催 1,355人 （市民対象の栽培講習会、出前講座含む）	A	好古学園大学校では全学年での毎年開催が定着し、市内小学校や公民館への出前講座も増加傾向にある。	座学コース 60人 野菜、果樹、花苗・鉢花コース 各10人 ひめじ楽園塾 1,000人 ひめじアグリダー 10人	農業振興センター
51	市民教養講座の開催	歴史講座、現代社会講座を開催する。	受講者数	1,900人	1,777人	(1)歴史講座 4コース 各 8 回を開催 参加者 1,507人 (2)現代社会講座 1コース 5 回開催 参加者 270人	A	受講者数が多く、平均出席率もおおむね 7 割の水準にあることから、受講者の満足度が高いと思われる。	1,900人	生涯学習課
52	公民館活動の充実	教養講座、地域講座、文化講座の充実を図る。	受講者数	400,000人	391,738人	・教養講座 921回 34,480人 ・地域講座 4,441回 78,399人 ・文化講座 33,807回 278,859人	A	各公民館において地域ニーズや地域課題を把握し、公民館事業に取り入れ、企画・実施することができた。	480,000人	市民活動推進課

② 生涯学習大学校・好古学園大学校の充実

No.	事業名	事業概要	R 6 事業実績				生涯現役の視点からの総合評価		R 8（後期最終年度） 目標値 又は 達成目標	担当課
			指標／目標値 又は 達成目標		実績値 又は 達成状況	内容				
53	生涯学習大学校活動の充実	生涯学習大学校講座の充実を図る。	在籍者数	2,510人	1,925人	本科37講座 1年1,479人 2年446人 合計1,925人	B	講座により定員充足率に違いは有るが、学生のニーズに応じて毎年講座の見直しを行い、生涯にわたって幅広い知識を得たいという学習意欲に応えることができた。	2,600人	生涯学習大学校
54	好古学園大学校活動の充実	好古学園大学校講座の充実を図る。	在籍者数	1,750人	1,474人	(1)専門講座 ・大学課程（4年制）：8学科・9教科 13クラス ・大学院課程（2年制）：8学科・9教科 13クラス (2)学年別教養講座 大学課程・大学院課程各学年1回 計6回 (3)全学教養講座 年6回 その他 クラブ活動（13クラブ） 学校行事（合同芸能発表会・音楽会・学園祭）等	A	芸能発表会や音楽祭、作品展など専門講座やクラブ活動等の発表の場の提供など、学生にとって充実した学園生活を送っていただくことができた。	1,950人	好古学園大学校

③ 展示会、発表会の開催

No.	事業名	事業概要	R 6 事業実績				生涯現役の視点からの総合評価		R 8（後期最終年度） 目標値 又は 達成目標	担当課	
			指標／目標値 又は 達成目標		実績値 又は 達成状況	内容					
55	高齢者作品展の開催	60歳以上の市民による絵画、書、工芸等の作品展を開催する。	出展作品数	380点	243点	・開催期間 令和6年8月21日～25日 ・会場 イーグレひめじ市民ギャラリー ・来場者数 988人		A	昨年度に引き続き出展作品数の目標値は下回ったものの、出展者や来場者の満足度は高く、継続開催への期待が大きい。また、このような趣味活動の成果を披露する場を設けることで、高齢者の趣味活動に対するモチベーション維持に寄与していると考えられる。	400点	高齢者政策課
56	高齢者芸能発表会の開催	60歳以上の市民グループによる音楽やダンス等の発表会を開催する。	出演グループ数	55グループ	27グループ	・開催日 令和7年2月4日（火） ・会場 市民会館大ホール ・出演 27グループ、428人 ・演目 舞踊、体操、コーラス等		A	校区老人クラブの解散や、出演者の高齢化により、老人クラブの参加率が低下したものの、老人クラブ以外からの参加もあった。また、アンケート調査において参加者の満足度は高く、高齢者の日頃の趣味活動の成果を発揮できる場として機能しており目標を達成できた。	60グループ	高齢者政策課

（２）学習活動に取り組む人への支援

① 相談窓口の設置

No.	事業名	事業概要	R 6 事業実績			生涯現役の視点からの総合評価		R 8（後期最終年度） 目標値 又は 達成目標	担当課
			指標／目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容				
再掲	生涯現役推進専門 員の配置 ※No.27再掲	生涯現役に関する相談に応じ、活 動のコーディネートを行う専門員を 配置する。	生涯現役に関する講演活動のほか、相談内容に応じた情報提供や関係機関の紹介など、生涯現役で過 ごすための支援が行えている。	生涯現役に関 する講演活動の ほか、相談内容 に応じた情報提 供や関係機関 の紹介など、生 涯現役で過ごす ための支援が行 えた。	・相談業務の実施（年間129件） ・情報の収集・発信 ・生涯現役人材バンクの運営 ・相談窓口設置の P R 活動	A	高齢者の多様なニーズに応えることに努 め、本来の趣旨である高齢者の生涯現 役に資することができた。	生涯現役に関する講演活 動のほか、相談内容に応じ た情報提供や関係機関の 紹介など、生涯現役で過 ごすための支援が行えてい る。	高齢者政策課

② 学習成果を生かす機会の提供

No.	事業名	事業概要	R 6 事業実績				生涯現役の視点からの総合評価		R 8（後期最終年度） 目標値 又は 達成目標	担当課
			指標／目標値 又は 達成目標		実績値 又は 達成状況	内容				
57	市民農園・レクリエーションファームの充実	市民農園・レクリエーションファームの充実を図る。	入園率	86%	81%	(1)市民農園入園率 ・仁色ふるさと農園 38%（77/202） ・南恒屋ふれあい農園 65%（66/101） ・林田チャレンジ農園 100%（36/36） (2)レクリエーションファーム ・開園数 37園（協議会28、それ以外9） ・入園率（協議会） 93.0%（761.2/818.1）	B	概ね計画通り実施し、学習活動の機会を継続して提供することができた。	90%	農政総務課
31-2	生涯現役人材バンクの設置	長年培った知識や経験、技術を持つ高齢者を登録し、その能力を求める市民とのマッチングを行う。	登録件数	85件	79件	・登録件数 79件 ・新規登録件数 4件、登録取消件数 1件 ・市内出先機関に人材バンクパンフレット及び人材リストを設置、市公式ウェブサイトにも掲載	B	広報ひめじやイベント時のチラシ配布によりP Rを行い、新規登録件数は4件と昨年より増加したものの、目標値を上回ることができなかった。	150件	高齢者政策課

（３）情報の活用

① 総合的な情報提供

No.	事業名	事業概要	R 6 事業実績				生涯現役の視点からの総合評価		R 8（後期最終年度） 目標値 又は 達成目標	担当課
			指標／目標値 又は 達成目標		実績値 又は 達成状況	内容				
58	インターネットによる情報提供	生涯現役に関する情報を総合的に提供するポータルサイト「生涯現役ネットひめじ」を運営する。	アクセス数	52,000件	71,665件	生涯現役に関する必要な情報を「生涯現役ネットひめじ」へ随時更新を行った。	A	より高齢者にやさしいページにするため、10月に生涯現役ネットひめじのデザインをリニューアルし、必要な情報を適宜更新することで、生涯現役に関する情報提供ができた。	54,000件	高齢者政策課
59	啓発パンフレットによる情報提供	生涯現役に役立つ事業を紹介する冊子を作成し、配布する。	市の事業を紹介する冊子を配布、活用してもらい、市民の生涯学習や社会参加が促進されている。		令和５年度以降廃止	「生涯現役応援ハンドブック」は令和４年度をもって廃止し、「高齢者のくらしの福祉」への掲載で代替することとした。	—		—	（旧）生涯現役推進室
60	コミュニティFM放送の活用	コミュニティFM放送を活用し、生涯現役に活躍する人の紹介や、生涯現役に関する情報を提供する。	出演回数	12回	12回	「飛び出せ！まちの元気人」のゲストとして、毎月1回生涯現役な人を出演いただき、日頃の活動や生涯現役の秘訣を語ってもらった。（12回）	A	教養講座の講師や生涯現役で活躍する方々の活躍をラジオを通じて多くの市民の方に発信し、高齢者に対して生涯現役の意識啓発を行うことができた。	12回	高齢者政策課
61	地域情報掲示板サービスによるフレイルや認知症予防の推進	高齢者の地域コミュニティへの参加を促し、フレイルや認知症予防のさらなる強化や、社会的孤立の解消を図るため、身近な地域で行われる活動やイベントに関する情報を閲覧できるデジタルサービスを導入	閲覧回数	24,000回	令和７年度新規事業		—		72,000回	高齢者支援課

② 情報格差の解消

No.	事業名	事業概要	R 6 事業実績			生涯現役の視点からの総合評価		R 8（後期最終年度） 目標値 又は 達成目標	担当課
			指標／目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容				
62	地域活動担い手パソコン講座の実施 ※ R 6 からNo.29に統合	地域活動担い手のためのパソコン講座を実施する。	受講者数	—	—	初心者のためのパソコン講座 (R 3 ～ R 5 累計 64人) ※ R 6 からNo.29に統合	—	—	(旧) 生涯現役推進室
63	生涯学習大学のパソコン講座等の充実	生涯学習大学のパソコン講座等の充実を図る。	参加者数	216人	238人	・本科 106人（基礎30人、応用30人、夜間基礎23人、夜間応用23人） ・短期パソコン講座 67人（入門13人、ワード24人、エクセル30人） ・パソコン指導者養成講座 6人 ・スマホ講座 59人	A	パソコン指導者養成講座は応募者が減少傾向にあるが、短期パソコン講座は学びたいソフトごとの講座になっており受講者の満足度は高かった。なお、スマホ講座は定員を増員した。	生涯学習大学校
64	好古学園大学校スマホ講座等の開催	好古学園大学校の教養講座において、情報格差の解消に繋がる講座を開催する。	定員充足率	80%	93%	スマートフォン等デジタル機器が親しみやすく便利な道具と感じられるような講座とし、基礎編と実践編を企画し実施した。 ・基礎編（1回） 参加者215人 ・実践編（3回） 参加者各15人	A	パソコンやプロジェクターを用いて高齢者にとって具体的でわかりやすい講義を行ったので、受講生が学んだことは、すぐに実践・応用できる。	好古学園大学校
65-1	デジタル・ディバイド対策の実施	スマホ操作に慣れていない高齢者を対象にスマホサロン・スマホ教室等を重点的に実施し、デジタル・ディバイドの解消を図るとともに、初めてスマホを所持する高齢者に対し新規契約時にポイントを付与する。	延べ利用者数	4,480人	3,404人	令和6年 5月20日 調達公告 （公募型プロポーザル） 7月11日 事業者決定 契約締結・導入準備開始 9月 1日 サービス開始	B	延べ利用者数の目標値を達成することはできなかったが、開催回数は想定を上回っており、また利用者の満足度が高い事業となっている。	高齢者支援課
65-2	公民館デジタル・ディバイド対策講座の開催	公民館でデジタル・ディバイド対策講座を開催し、情報格差の解消に繋げる。	講座の実施回数	100回	114回	スマートフォン講座など含めて114回実施した。	A	数値目標からして十分達成できたと考ええる。	市民活動推進課
再掲	高齢者消費者被害防止講座の開催	高齢者を対象にした市政出前講座を実施し、最新の相談事例や契約の知識、悪質商法の手口、クーリングオフ制度などの知識を深めてもらい、消費者被害等の防止を図る。	講座回数	40回	37回	・最新の相談事例や契約の知識、悪質商法の手口、クーリング・オフ制度等について出前講座を実施した。 ・生涯学習大学校において、高齢者や身近で見守る人を対象とした「高齢者消費者被害防止講座～金融犯罪の手口と対策～」を9月26日に開催した。	A	高齢者に消費者トラブルの未然・拡大防止の啓発を多方面で実施できた。	消費生活センター

(4) 社会参加への促進

① 交流する機会・場の充実

No.	事業名	事業概要	R 6 事業実績			生涯現役の視点からの総合評価		R 8（後期最終年度） 目標値 又は 達成目標	担当課
			指標／目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容				
66	高齢者交流施設の運営	高齢者の教養向上、健康増進、レクリエーションのため、香寺いきがいセンター、家島宮老人の家他3施設を管営する。	利用者数	5,600人	5,875人	利用件数及び利用者数 ・香寺いきがいセンター 835件／5,875人 ※老人の家は令和6年度以降、地元区会の責任で管理することとなったため、利用人数は把握できない。	A	目標を達成することができた。	高齢者政策課
67	老人福祉センター等の運営	高齢者の教養向上、健康増進、レクリエーションのため、老人福祉センター等を運営する。	利用者数 (楽寿園、家島老人福祉センター、香寺健康福祉センター)	41,330人	41,791人	利用人数 ・楽寿園 41,791人 ・家島老人福祉センター (R6.8廃止) ・香寺健康福祉センター (R6.3廃止)	A	校区登園や教養講座を実施するなど、健康の増進や教養の向上に資することができた。	高齢者政策課 (楽寿園、家島老人福祉センター、香寺健康福祉センター)
68			利用者数 (すこやかセンター(老人福祉センター))	80,000人	61,443人	・校区登園 (登園日：176回、登園者数：7,201人) ・教養講座の開催 (実施回数：176回) ・趣味の教室の開催 (172回開催・登園者数：4,496人) ・図書の貸出(貸出冊数：198冊)	A	新型コロナウイルス感染拡大前の利用状況にまでは戻っていないものの、徐々に利用者数は回復してきており、利用者の満足度も高い。	地域福祉課 (すこやかセンター(老人福祉センター))
69			利用者数 (夢前福祉センター(老人福祉支援施設))	6,000人	3,546人	・開館日数 306日 ・施設総利用者数 57,987人 ・老人福祉支援施設利用者数 3,546人 ※延べ人数	B	利用者数の回復が遅れている。	高齢者政策課 (夢前福祉センター(老人福祉支援室))
再掲	市民会館・地区市民センターの運営 ※No.10再掲	教養講座(健康づくり・音楽・芸術等)の開設や貸館業務など、地域のコミュニティ施設として、市民会館・地区市民センター・家島交流センター(R6.10開館)を運営する。	利用率	58%	53.7%	各種教養講座のPRや指定管理者における自主事業の実施により、利用者数の確保に努めた。 また、老朽化した備品の計画的な更新を行い、快適な施設環境改善に努めた。 【家島交流センター】 ・令和6年10月開館 ・開館日 火～日曜日(祝日、年末年始を除く。) ・利用人数 3,474人	B	目標数値を概ね達成することができた。また、利用者の満足度も高かった。	市民活動推進課

② 社会的孤立の防止と地域支え合い活動の推進

No.	事業名	事業概要	R 6 事業実績				生涯現役の視点からの総合評価		R 8（後期最終年度） 目標値 又は 達成目標	担当課
			指標／目標値 又は 達成目標		実績値 又は 達成状況	内容				
70	ひとり暮らし高齢者へのふれあい食事サービスの実施	地域の高齢者のふれあい・交流を深め孤独感を解消し、生きがいの高揚を図るため、昼食を提供する。	ひとり暮らし高齢者等に対し食生活の改善を図るほか、地域とのふれあいに根差して、感染対策を徹底した上で、引き続き継続していく。		ひとり暮らしの高齢者に対し給食を届けたり、一堂に会して食事をしたりする機会の提供を行った。	・実施地区 71地区 ・実施回数 1,112回 ・延べ参加人数 59,415人 ・参加者数 5,046人	B	事業の目的である、ひとり暮らし高齢者等に対し食生活の改善を図るほか、地域とのふれあいについて、概ね実現することができている。	地域の高齢者の食生活が改善され、地域の人とのふれあい・交流が深まり、ひとり暮らし高齢者の孤独感が解消され、生きがいの高揚が実現されている。	高齢者政策課
71	認知症サロンの充実	認知症の人であるか否かに関わらず、地域の高齢者が自由に通うことのできる「認知症サロン」を支援する。	認知症サロン数	100グループ	99グループ	認知症サロンにおいて地域包括支援センター介入のもとフレイルチェック票および必要者に認知症の気づきチェックリストの実施・受診支援を行った。 また、認知症予防により介護予防機能を強化した。	B	担い手不足等で目標数値には届かなかったものの、地域包括支援センターの支援を受けて各グループで工夫して認知症サロンの活動ができている。また、認知症の方の参加や相談も地域包括支援センターの支援を受けて実施できている。	118グループ	高齢者支援課
72	認知症サポーターの養成	地域や職域において認知症の人やその家族を支援する「認知症サポーター」を養成する。	認知症サポーター数	50,000人（累計）	52,232人（累計）	・認知症サポーター養成講座を84回開催し、3,275人の養成を行った。 ・小学校で8回、中学校で11回、高校で3回、大学・専門学校等で3回の認知症サポーター養成講座を開催し、10代の受講者が増加した。 ・キャラバン・メイト研修を12名が受講し、新規登録した。 ・ステップアップ研修を実施し、23名が受講、うちチームオレンジとして団体1、個人1の登録があった。	B	サポーター養成数は目標を達成できた。	60,000人（累計）	高齢者支援課
73	地域包括支援センターの充実	体の衰えや地域での暮らしに不安のある高齢者に対し、地域包括支援センターが相談・支援を行う。	生活支援に関する地域課題を関係者間で共有できる仕組みづくりを行う。		介護予防に関する地域課題について関係者間で共有することができた。	・地域ケア個別会議 ケアマネジメント力向上会議 24回 地域支えあい会議 75回 自立支援ケア検討会議 16回 ・地域マネジメント会議 4回 ・実地指導 10カ所 ・第三者評価 13カ所	B	地域ケア個別会議より抽出した地域の課題を準基幹地域包括支援センターの圏域ごとに関係者間で共有し、最終的には市域の生活支援体制検討会議にて課題を共有することができた。	地域包括ケアシステムの中核機関として、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるようにマネジメントを行うことができている。	高齢者支援課
74	終活支援事業の実施	人生の最期に自身の意思が尊重されるよう、ひとり暮らしの高齢者等を対象に、緊急連絡先等の登録や、葬儀・納骨に関する相談先の情報提供を行う。	相談回数	30回	38回	（R6新規事業） 令和6年10月 事業開始（相談受付、終活情報登録）	A	令和6年10月に事業を開始し、相談者の不安を整理することから丁寧に相談を続け、多くの方から、「相談して良かった」との意見をいただくことができた。	120人	高齢者支援課
再掲	高齢者の自主的な健康づくり活動への支援 ※No.16再掲	「いきいき百歳体操」を住民に提案し、地域住民が主体となった健康づくり・介護予防活動を実践できるよう支援する。	自主活動グループ数	570グループ	481グループ	・保健センター及び地域包括支援センターによる講演会・教室及び相談会等の開催 ・保健センター及び地域包括支援センターによるいきいき百歳体操のグループ立ち上げ支援	B	地域包括支援センターと保健センターが立ち上げ支援・継続支援に取り組んでおり、総合的に判断すると概ね目標は達成できた。	600グループ	高齢者支援課 保健所健康課

③ 高齢者の外出促進

No.	事業名	事業概要	R 6 事業実績				生涯現役の視点からの総合評価		R 8（後期最終年度） 目標値 又は 達成目標	担当課
			指標／目標値 又は 達成目標		実績値 又は 達成状況	内容				
75	高齢者交通安全教室の開催	参加体験型の学習を通して、交通安全意識の向上を図る。	受講者数	4,500人	2,327人	年間50回の高齢者交通安全教室を開催し、延べ2,327人が参加した。	A	関係機関と連携・協力し、交通事故防止の再認識を促した。	6,600人	危機管理室
76	公共交通のバリアフリー化の推進	高齢者・障害者等に配慮した公共交通のバリアフリー化を推進する。	事業者の申請に応じて公共交通バリアフリー化への補助を行い、公共交通のバリアフリー化を促進して、利用者の利便性を向上させる。		（ノンステップバス購入経費の補助） 事業者からの申請のあったノンステップバス中型3台について購入補助を行った。 （鉄道駅舎バリアフリー化工事の補助） 緑越事業を含め、計画通り完了することができた。	・ノンステップバス購入経費の補助 神姫バス 3台（中型3台） ・鉄道駅舎バリアフリー化工事の補助 JR・京口駅（設計） 山陽電鉄・西飾磨駅（設計） ・（R 5 緑越）鉄道駅舎バリアフリー化工事の補助 山陽電鉄・夢前川駅	B	令和6年度は、事業者からの申請が計画より少なかったものの、ノンステップバス導入について補助を行い、バリアフリー化の促進、高齢者や障害者等が容易に利用できる交通環境の実現を図ることができた。	公共交通のバリアフリー化に要する費用の一部を助成することで、バリアフリー化を促進し、高齢者や障害者を含むすべての人が公共交通を容易に利用できるようになっている。	地域公共交通課 鉄道駅周辺整備課
77	高齢者福祉優待カードの交付	65歳以上の市民を対象に、市内の12施設が無料になる優待カードを交付する。	延べ利用者数	83,000人	49,688人	・交付枚数 7,439枚 ・延べ利用者数 49,688人	B	延べ利用者数の目標値には届いていないが、満足度は一定程度得ていると思われる。	83,000人	高齢者支援課
78	高齢者バス等優待乗車助成事業の実施	75歳以上の市民を対象に、バス、鉄道、船舶、タクシー（タクシーは要介護2から5の人のみ）のうち、いずれか1つの交通機関の優待乗車券を交付する。 ※令和6年度9月末で鉄道は廃止、タクシーの要介護要件は撤廃	事業を継続して実施することで、高齢者の外出を促進し、高齢者の社会参加と生きがいづくりに資することができている。		事業見直しにより鉄道助成の廃止があったにも関わらず、80%以上の高い交付率を維持することができた。	【交付実績】（令和7年3月31日現在） 対象者数 74,877人 交付者数 62,776人 バス 27,512人 船舶 960人 タクシー 34,304人 交付率 83.8% ※令和6年度9月末で鉄道（ICOCA）は廃止、タクシーの要介護要件は撤廃	A	事業見直しにより鉄道助成の廃止はあったものの、タクシー助成の要件廃止等により交付率は80%を超えている。高齢者の外出を促進し、高齢者の社会参加と生きがいづくりに資することができた。	事業を継続して実施することで、高齢者の外出を促進し、高齢者の社会参加と生きがいづくりに資することができている。	高齢者支援課